

第3学年 「SDGsの問題を解決しよう」

～給食から学校を変えようプロジェクト～

SDGsの取組について調べたり、自分にできることを考え問題を解決する活動を通して、SDGsの取組はこれからの社会にとって大切であることを理解することや、相手や場面に応じた適切さで情報を収集、整理・分析し、自分の伝えたいことを明確にし、方法を工夫しながら表現することをねらいとしています。

探究的な学習

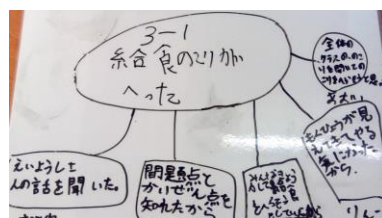
①タブレットを活用した情報収集、思考ツールで整理・分析に挑戦！

3年生は、総合的な学習の入門期でもあります。適切な方法を用いて、情報を収集する技能を身に付けるために、タブレットを有効活用できる指導を行っています。

収集した情報をホワイトボード、思考ツールなどを使って整理・分析を行いました。



↑友達と協働して情報収集
必要な情報を書き出す



↑クラスで取り組んだ
ことを分析

②「給食から学校を変えようプロジェクト」の立ち上げ

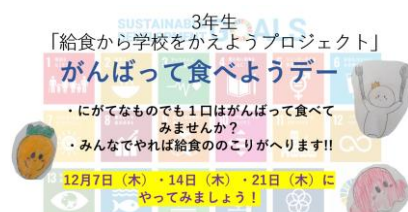
SDGsの問題と関連付けて、学校での給食残菜が多いことに課題を見付け、「給食から学校を変えようプロジェクト」を立ち上げました。「給食の残菜はどれくらいあるの?」「なぜ給食を残してしまうのかな」「どうしたら給食の残菜を減らせるのか?」ということについて考え取り組みました。栄養士さんへのインタビューやアンケートなどを行い情報収集し、プロジェクトチームごとに残菜を減らす方法についてスライドやポスター、動画など様々な方法で表現し、全校へ発信しました。



↑栄養士さんへインタビュー



↑学んだことを保護者へ発表



↑「がんばって食べようデー」
を設定し、全校へ発信!

第4学年「防災について知り、学び、生かそう！」

～防災について調べ、学んだことを生かして「防災キャラバン」を開こう～

自然災害や地域・家庭の防災・減災の取組について調べ、体験することを通して、多様な人々が互いの生命を守るために連携・協力していることを理解し、明確な目的をもって情報を収集、整理・分析し、自分の伝えたいことを明確にして相手や目的に応じて表現することをねらいとしています。

探究的な学習

① 地域にある設備の見学や避難所を体験

「防災」は、今後も考え続けなければならないテーマの一つです。区防災課、消防署、避難所連絡会議等の方々にご協力をいただき、資機材格納庫や、防災拠点を見せていただきました。また、実際に避難所体験や消火器体験などを行いました。防災のために、地域で連携や協力がなされていることや、自分にもできる問いを考え、周りの人へ発信しようという課題を発見することができました。



↑ 備蓄倉庫の見学



↑ 地域の一時避難場所などを調査

② 学んだことを防災キャラバンで発信！

学んだことを生かして「かけづかEXPO2023」で「防災キャラバン」を開催しました。学んできた情報を分析し、発信したい内容を整理しポスターやパワーポイントなどグループごとに資料にまとめました。他学年児童や参観に来校した多くの保護者、地域の方に対して、防災について知ってもらいたい提案を伝えることができました。



↑ 自分たちが学んだ消火器の使い方を下級生に説明



↑ 避難所や防災グッズ、仮設トイレやテントなど、グループごとのテーマで伝える



↑ 必要な情報を資料にまとめて伝える

第5学年 「食で地域を笑顔にしよう」

～「かけづか菜園プロジェクト」地域のレストランと協力をし、
自分たちで育てた作物を使った商品を開発・販売する～

作物の栽培や販売活動、飲食店と協力した商品開発を通して、商品開発・マーケティングの方法・苦勞を理解することや、適切な方法を用いて情報を収集、整理・分析し、自分の意見や立場を明確にしながら相手や目的に応じて表現することをねらいとしています。

探究的な学習

①野菜を育て、地域に届けよう！

自分たちが育てた野菜を地域に届けるという課題を立て、夏野菜の栽培を行いました。育て方や収穫方法を調べ、実際に栽培し、収穫した野菜を1年生親子を対象に販売しました。野菜の値段を調べるマーケティング活動を行い、集めた情報をもとに値段を決めたり、チラシを作って宣伝したりしました。栽培・販売活を通して見えてきた課題を、次の冬野菜の栽培や商品開発に生かせるようにしました。



↑梅雨の時期、雨に直接当たらないように雨除けを手作り



1年生親子に育てた野菜を販売。↑
値段の設定も話し合いを重ねて自分たちで決定

②地域の方々と協力して 商品開発・販売！

恵比寿地域の飲食店と協力し、菜園で栽培した野菜を活用して商品を開発、成果発表の場である「かけづかEXPO2023」で調理・販売を行いました。飲食店のスタッフの方に、何度も来校していただき、プロの視点から、開発した商品の改善点を教えていただきました。また企業の方をゲストティーチャーに招き、どのように「マーケティング」を行っていくか指導していただきました。また、販売に向けて、各種広告活動を行いました。



ジャガイモは、
失敗を生かして秋に再
挑戦！
種いもの重さを慎重に
量ろう！



飲食店の方へ商品をつれぜん↑
アドバイスをもらう



↑「かけづかEXPO 2023」
接客、盛り付け、販売を体験

第6学年「恵比寿の未来をデザインしよう」

～地域の企業と連携し、恵比寿の未来を考え、町の課題を解決する～

恵比寿で活躍する人々の話を聞いたり、インタビューしたりする活動や、町の課題の解決策を考えたりする活動を通して、私たちの生活をよりよくするための多様な仕事があることを知り、地域の人々の未来のために、働いている人々の思いや役割を理解することや、適切な方法を用いて情報を収集、整理・分析し、自分の意見や立場を明確にしながら相手や目的に応じて表現することをねらいとしています。

探究的な学習

①企業と協働し、町の課題や解決策を考える

地域のコンサルタント・デザイン企業と一緒に「恵比寿の未来」をデザインするという課題を立て、恵比寿で活躍する人々を招きワークショップを行いました。町の良さや課題などの情報を集めて分析し、友達と解決策を考えました。

企業の方と協働して町をよりよくするための解決策を考えよう！



↑恵比寿で活躍する方々から話を聞く



②解決策をよりよいものにし、実現させる

考えた解決策をよりよいものにするためにはどうしたらよいか、企業と協働して解決策を練り上げました。ごみのポイ捨て問題を解決するためのアイデアゴミ箱作りや、学校近隣のコミュニティセンターでのイベント企画、学校体育館での「子ども映画祭」の企画・開催など、自分たちで考えたアイデアを実現させるために、友達や企業の方と話し合いを繰り返しました。地域の問題を自分事として捉え、自分たちにできることを考えることができました。

↑「ごみ箱作戦」
楽しくマナーを守ってごみを捨てられるごみ箱作り地域で行うイベントの企画を↑
チームで協働して考える

暮らしを豊かにするための「節約術カレンダー」

映画祭ポスター

